

製品名: APC1 (リン酸化 Ser355) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04244**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ANAPC1
別名	ANAPC1; TSG24; Anaphase-promoting complex subunit 1; APC1; Cyclosome subunit 1; Mitotic checkpoint regulator; Testis-specific gene 24 protein
遺伝子 ID	64682.0
SwissProt ID	Q9H1A4
免疫原	抗血清は、Ser355 のリン酸化部位周辺のヒト APC1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 321-370

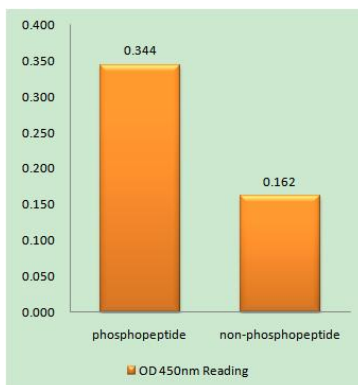
背景

この遺伝子は、後期促進複合体のサブユニットをコードします。この複合体は E3 ユビキチンリガーゼであり、タンパク質をユビキチン化して分解することにより、細胞周期の中期から後期への進行を制御します。[RefSeq 提供、2011 年 12 月]、機能：細胞周期制御性 E3 ユビキチンリガーゼである後期促進複合体/サイクロソーム (APC/C) の構成要素であり、細胞周期の有糸分裂および G1 期の進行を制御します。、経路：タンパク質修飾；タンパク質ユビキチン化。、PTM：リン酸化。Ser-355 のリン酸化は、有糸分裂中に特異的に起こります。、類似性：APC1 ファミリーに属します。、類似性：4 つの PC リピートを含みます。、サブユニット：APC/C は少なくとも 11 のサブユニットで構成されています。、

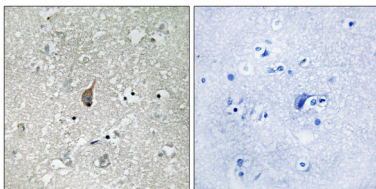
研究分野

Cell_Cycle_G1S;Cell_Cycle_G2M_DNA;卵母細胞減数分裂;ユビキチンを介したタンパク質分解;プロゲステロンを介した卵母細胞成熟;

画像データ



APC1 (リン酸化 Ser355) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



APC1 (リン酸化 Ser355) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。